

事例ノート CASE1

岩手県岩手郡
株式会社 トータルエクステリア 様

同業6社で「庭案倶楽部」をつくり、ガーデニングショー開催など 地元・盛岡からの発信に情熱を注ぐ

創業は平成4年。それまで勤めていた不動産・建築・外構工事会社から、外構部門をのれん分けしてもらい独立。当時はハウスメーカーなどからの紹介が中心でしたが、7~8年後に新築需要が落ち込んだのがモロに響き、売り上げが3割落ちました。

他力本願では危ないと思いついて、エンドユーザー様へ直接発信していくことを決心。すぐに展示場をつくり、お客様を呼び込む作戦を開始しました。それはイベントの仕掛け。「東北ガーデンデザイナーのパネル展」を企画し、タウン誌に告知したところ、人がわあーっと集まりましたね。



代表取締役
伊藤良男様

こういったイベントはその後毎年3回ほど開催しています。スタッフは、営業が私を含めて2名、デザイナー1名、経理1名です。実績は月に10~15件、お客様はエンドユーザー様が7割で、そのうち7割は口コミでいらして下さっています。

デザインで心がけているのは、古びてなお味の出る自然素材を組み合わせること。また、お施主様が庭に出ていじりたくなるように、花壇などにあえて未完成の部分を残すこともあります。

また、実物を見るのは何よりの勉強だと思っていますので、東京や全国各地の展示会や話題のガーデンなどは社員にも精力的に行かせて、情報収集しています。

しかし情報を受け取るばかりでなく、地方からも発信していきたい。そのためには業界のレベルアップが不可欠と考え、4年前から「同業者はライバルじゃない」を合い言葉に、「庭案倶楽部」を結成。同業6社が2か月ごとに集まって、各メーカーの勉強会や、共同でのチラシ制作などを行うほか、いずれは地場の南部鉄器でオリジナル門扉なども製造したいと考えています。

さらに、去年からは盛岡の公共施設を会場に、大規模な「ガーデニングショー&ペットフェスティバル」も企画。とくに今年6月に開催された2回目は、三協立山アルミをはじめ各エクステリアメーカーからも新製品を出品してもらい、10ブースものモデルガーデンで構成。3日間で12,549人の入場者を記録して、東北最大規模のイベントになったと各方面から評価されました。



庭案倶楽部では、共通チラシも作成、各々の社名を入れて販促や誘店に活用しています。



「ガーデニングショー&ペットフェスティバル2007」は地元発行の雑誌「住まいnet岩手」でも話題に。

さまざまな素材でアプローチを展示

店の前の小さな展示スペースでは、天然石・レンガ・タイル・枕木・コンクリートなどでさまざまなアプローチを提案。植物もふんだんにあしらわれ、雰囲気のある庭づくりの参考になりそう。



【エクステリア全景】
建物、塀、カーポートがバランスよくまとまった美しい外観。塀は高級感のあるレンガ風のブロックを採用。建物とは対照的な明るい色でアクセントに。

明るい塀とダイナミックなカーポートがアクセント
1様邸

クローズ外構を希望された1様邸。建物のダークな色調をあえて使わず、塀を明るい色にしてコントラストをつけ、外観にメリハリを持たせました。カーポートはG-1を採用。セキュリティを考慮して前面に跳ね上げ門扉エクモア1型ワイドも設置。家の前は塀でしっかりと囲いながら、カーポートの奥に庭の一部が見え隠れする、クローズになりすぎないエクステリアが完成しました。



【アプローチにはロードヒーター】
何度か折れ曲がり、外からの距離感をもたせたアプローチ。ピンク色のタイル部分は床下にロードヒーターが埋め込まれ、雪を溶かしてくれるので、雪かきの手間もなく安全に歩けます。



【カーポートから庭へ】
カーポートの奥には家庭菜園が設けられ、夏場は収穫を楽しめたとか。さらに奥は中庭に通じています。



【玄関へも勝手口へも】
カーポートからは玄関（左側の奥）へも勝手口（右側のドア）へも行き来がスムーズ。とくに勝手口は車から濡れずに荷物などを出し入れできます。



【カーポート】
跳ね上げ門扉を上げたところ。電動式なので操作はスムーズです。カーポートは積雪も考えてG-1を採用。直線的で力強いフォルムが建物や塀とも調和しています。